

## 10年の節目を迎えた文化の発信地

都城市総合文化ホール（MJ）の開館10周年を祝う記念フェスティバルが、10月22日と23日、開催されました。市民参加のダンスやコーラスのほか、本市出身のミュージシャンの演奏などの記念プログラムを企画。記念コンサートのファイナーレでは、同館の服部克久終身名誉館長の指揮の下、参加者全員で「明日があるさ」を熱唱し、10年の節目を祝いました。また、服部館長にみやこんじよ大使を委嘱。服部館長は「思い入れのあるMJの発展に協力していきたい」と喜びを述べていました。



MJ開館10周年記念フェスティバル

## 日ごろの感謝を書でつづる

書家の紫舟さん指導の下、大切な人への思いを書でつづる「ラブレタープロジェクト都城編」が11月3日、ウエルネス交流プラザで開催されました。参加者らは、家族や友人への日ごろの感謝の気持ちなどを思い浮かべながら、和紙に自由な書体で言葉をつづりました。また、今回は外国人市民も参加。張振剛さん（中国）は、「紫舟さんに、自分の感情を筆に込めて書くように教わった。参加した人みんなが楽しそうで、書道は国境を越えて外国の人の心にも浸透した」と笑顔で話していました。



ラブレタープロジェクト都城編

## 地域待望の公園施設がオープン

志和池最終処分場内（上水流町）に整備した志和池中央ふれあい広場の落成式が10月15日、開催されました。地元環境整備対策協議会が、パークゴルフ場などを管理運営。今村寛秀協議会会長は「埋め立て地を有効活用することで、志和池を環境先進地としてアピールしていきたい」と抱負を述べました。



志和池中央ふれあい広場落成式

## 好きなみやこんじよの風景を描く

都城市景観图画コンクールの表彰式が10月15日、イオンモール都城駅前で行われました。ふるさとの自然や町並みなど、景観に対する子どもたちの意識を高める目的で実施。「再発見！みやこんじよの好きな風景」をテーマに市内の小中学生753人から応募があり、入賞者30人が表彰されました。



都市景観图画コンクール表彰式

## はじける笑顔、広がる！

小学生実行委員らが自ら企画し、運営する子どもフェスティバルが10月16日、中央公民館を中心に開催されました。実行委員の坂元美月さん（西小5年）は「大人や他の実行委員と話しながら、お菓子づくりの準備をした。みんなが楽しんでくれてうれしい」と充実した表情を浮かべていました。



子どもフェスティバル

## 勇壮な弥五郎どんに、無病息災を願う

国の無形民俗文化財に指定されている弥五郎どん祭りが11月3日、的野正八幡宮周辺で開催されました。身の丈4倍の弥五郎どんを先頭に、獅子舞やみこしなど約200人が浜殿下り。弥五郎どんの衣装に触れると、1年間無病息災に過ごせるとの言い伝えから、沿道に詰め掛けたたくさんの方が見物人が、こぞって手を伸ばしていました。また、拜殿では神舞や神楽舞の奉納のほか、民俗芸能などが披露され、会場からは、舞い手の子どもらに温かい拍手が送られていました。



弥五郎どん祭り

## 100年後の未来のため、種をまく

都城農業高校で11月5日、創立100周年を祝う式典が開催されました。開会では、在校生による太鼓や民俗芸能が披露され、会場の卒業生らから盛大な拍手が送られました。上池恭廣校長は「グローバル化した現在、何ができるか、したいかが問われる。100年間育んできた本校の教育力と卒業生の英知を生かし、今後も新しい力を育てる」と式辞を述べました。新穂地平生徒会長は「現状に甘んじることなく、挑戦することが大事。未来に向け、自分たちの種をまくときがきた」と力強く話しました。



都城農業高校創立100周年



合同金婚式

共に連れ添い半世紀  
結婚50年目を迎える夫婦を祝う合同金婚式が10月18日、総合文化ホールで開催されました。145組の夫婦が参加。参加者を代表して中村幸一・フミ子夫妻が「金婚の喜びを皆さんと分かち合いたい。そして、これからも都城のため、夫婦で協力し合い役に立ちたい」と謝辞を述べました。



環境まつり

楽しみながら環境を学ぶ  
都城市環境まつりが10月22日、リサイクルプラザで開催されました。環境問題に関心のある市内の企業や団体が、環境にちなんだ展示や体験コーナーなど76ブースを出展。このほか、学生らがおみ減量のアイデアを発表するなど、来場者らは、楽しみながら環境について学びを深めていました。



山之口SAしかけ時計除幕式

## 山之口の文化の魅力を発信

山之口の伝統や文化の魅力を発信するモニユメントの除幕式が11月1日、山之口サービスエリアで行われました。上り線には「弥五郎どん祭り」、下り線には「人形浄瑠璃」をモチーフにした、同地区を象徴する「しかけ時計」を設置。しかけ時計は、サービスエリア駐車場からのみ見ることができます。



明治大学野球部

主将

柳 やなぎ

裕也 ゆうや

投手



風景

応援してくれるみんなへの感謝こそが、  
自分の野球の原動力！

明治大学野球部の球場（内海・島岡ボールパーク）。場内に足を一步踏み入れると、「こんにちは」と部員たちの元気な声が響きます。その中でもひとときわ輝く笑顔で迎えてくれたのが、プロ野球ドラフト会議で、中日ドラゴンズから1位指名された明治大学野球部主将の柳裕也投手（小松原中卒）です。

小学3年生で志比田スポーツ少年団に入部した時から、プロ野球選手になるのが夢だった柳投手。「亡き父や見守ってくれる母の支えがあった。ここまで来れたのは、素晴らしい指導者や仲間にも、ずっと恵まれてきたから」と話します。

小学生時代に全国優勝、中学生時代にリトルシニア野球日本代表として9カ国対抗全米選手権大会に出場し、優勝した柳投手。その後、全国屈指の強豪校横浜高校に進学し、3度の甲子園出場を果たしました。

明治大学ではエースとして東京六大学リーグで活躍。日本代表としてもユニバーシアード大会や日米大学野球選手権大会に出場して優勝するなど、数々の実績を残しています。その実績とともに将来を期待され、今回1位指名された柳投手は「プロになる夢がかなって嬉しい。でも、ここからが厳しい世界。気を引き締めて頑張りたい」と日々トレーニング



グに励んでいます。

「やりたい、実現したいと強く思い努力していると、両親だけでなく、周りにいる人達も応援し、支えてくれた。尊敬するリトルシニアの平川弘監督との出会いも、全国、世界への扉を開いてくれるものだった」と思い返します。

小学生の時から周りの期待を常に背負いながら、野球と向き合ってきた柳投手。「自分は周りの期待を奮起する力に変えられるタイプ。今後、1軍の座を勝ち取り活躍することが、応援してくれる皆さんの人への恩返しになる」と力強く話します。

最後に「常に周りの人への感謝の気持ち忘れず、目標を高く持つてがんばってほしい」と都城の子ども達にエールを送ってくれました。



中心市街地(まちなか)の活性化や魅力度アップを図ろうと奮闘している、都城市中心市街地タウンマネージャーの二宮啓市さん。今回は、これまでの取り組みとこれからの展望を紹介します。

### まちなか再生のこれまで

まちなかににぎわいを取り戻そうと、店舗などの空き物件を再生し、新たな魅力を創造する「リノベーション」によるまちなかづくりを進めてきた二宮タウンマネージャー。昨年8月の就任以来、各種セミナーの開催と併せて、小売りや飲食など8店舗の開店をサポートしてきました。

これまでの経験から人と人とのつながりを重要と捉え、「連携こそが、まちなか再生の成功の鍵」と力を込める二宮さん。セミナーなどでも、さまざまな業種の人と補完し合うことの意義を訴えかけています。

### 熱心な議論が交わされたリノベーションスクール

10月に三日間の日程で開催された、県内初となるリノベーションスクール。市内外から24人が受講し、二宮さんも事務局として参加しました。



同スクールでは、受講者が3班に分かれて、まちなかの空き物件の活用について意見を出し合い、資金繰りや内外装のデザインなどさまざまな目線で検討し、事業計画を策定。公開プレゼンテーションでは、参加した空き店舗の所有者らなどに、熱い思いをユーモアを交えながら提案しました。

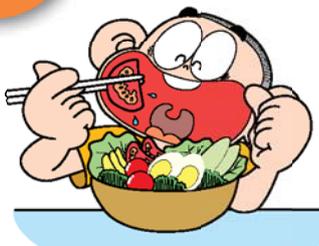
### 次のステップに向けて

「まちなかの再生のために、何かをしたいと思う仲間も増えてきた」と自信を見せる二宮さん。空き店舗の再生を進めながら、まちなかを回遊しやすくなるような仕組みをつくっていききたいと、次なる目標を見据えています。

◎問い合わせ 秘書広報課 ☎23-3174



盆地生まれの元気をいただきます!



## サツマイモとカボチャのミルク煮

一日に5皿の野菜料理を食べよう!

※一個95Kcal、塩分0.5g



サツマイモはビタミンCとビタミンEが豊富に含まれ、美容・美肌効果のある食材。また、疲労回復効果のあるビタミンB1やカルシウム、リン、鉄、カリウムなどミネラルも豊富で、食物繊維も多く便秘解消にも効果的です。

- 材料(4人分)
 

サツマイモ…100g	A	牛乳…200cc
カボチャ…100g		砂糖…小1
		塩…小1/3
- 下準備
 

サツマイモ…皮が付いたまま、1センチの厚さの輪切りにし、水にさらす

カボチャ…一口大に切る
- 作り方
  - ①サツマイモとカボチャを、具材が隠れる程度の水で煮る
  - ②サツマイモの周囲が透き通ってきたら湯を捨て、Aを加えて煮る
  - ③煮立つ直前に火を弱め、サツマイモとカボチャが柔らかくなるまで煮る



サツマイモは、皮の近くに食物繊維などの栄養素が集中しているので、きれいに洗って皮ごと食べるのがおすすめ。皮をむく場合も、できるだけ薄くむきましょう。

◎問い合わせ 健康課 ☎23-2765